

◆参考資料③ 各エリアの主な部屋と必要面積ならびに必要な設備

ゾーン	機能区分	諸室番号	室名称	配置階	検討面積(m)	用途・利用人数等	配置・動線などの仕様	現埋蔵文化財センターを基にした必要設備			
								電源 (1口2穴アース付き)	給排水	空調	その他
調査・収蔵ゾーン	事務管理エリア	①	事務室	地下1階	65	施設職員が庶務を行うスペース/10人程度	応接室を近くに配置すること。	4口(天井用配線ダクト)	不要だが、給湯室が必要	必要	L A N
		②	応接室	地下1階	15	来客対応を行うスペース	事務室の近くに配置すること。	2口は必要	不要	必要	L A N
		③	事務室(受付)	地下1階	35	展示室の受付と来客対応を行うスペース/5人程度	一般観覧者の進入が管理できる動線上に配置すること。	4口(天井用配線ダクト)	不要だが、給湯室が必要	必要	L A N
		④	更衣室	地下1階	22	更衣スペース	事務室の近くに配置すること。	1口	不要	不要	
		⑤	給湯室	地下1階	3.8	事務室・応接室用の給湯を行うスペース	事務室・応接室の近くに配置すること。	2口は必要	必要	不要	既存を利用
		⑥	給湯室	1階	3.8	作業室用の給湯を行うスペース	美術展示棟側整理作業室近くに配置すること。	2口は必要	必要	不要	既存を利用
	調査作業エリア	⑦	整理作業室	1階	133	出土品の接合や、図化、報告書の作成・研究などを行うスペース	写真撮影室の近くに配置すること。 1階ホワイエ側に見学窓を設け作業風景が見学できるようにすること。	15口	手洗い場兼土器洗い場必要 4口数の手洗い場×2 ※汚水処理可能な排水機能。	必要	L A N 「事務室の環境管理基準」 にのっとること。
		⑧		2階	140						
		⑨		1階	48						
		⑩	写真撮影室	2階	40	出土品の写真撮影を行うスペース		100V 2口、普通3口	不要	必要	窓不要、換気扇
		⑪	水洗・整理室	地下1階	66	出土品の水洗いや整理を行うスペース		4口	手洗い場兼土器洗い場必要 4口数の手洗い場×2 ※汚水処理可能な排水機能。	必要	
		⑫	資料室	地下1階	81	研究書籍や過去の届出文書などの保存・配架を行うスペース	アングル棚を設置すること。	3口	不要	必要	除湿、ガス消火設備が必要
		⑬	資料室(書籍)	地下1階	70	調査研究に必要な図書の保管室	書棚(現在使用しているものを移設)を設置すること。	4口	不要	不要	ガス消火設備が必要
		⑭	写真・図面保管庫	地下1階	35	発掘調査や出土品の写真、図面の保管を行うスペース	アングル棚を設置すること。	2口	不要	必要	除湿、ガス消火設備が必要
	収蔵エリア	⑮	収蔵庫	1階	1010	報告書作成用の出土品・発掘調査直後の出土品の保管を行うスペース	整理作業室との動線が確保されていること。	各2口	不要	不要	換気が必要
		⑯	特別収蔵庫(鉄器・木器)	1階	110	鉄製品など室温管理が必要な出土品の保管を行うスペース	室温が管理しやすい位置に配置すること。コンクリート躯体との間に空間を確保した二重壁にすること。換気口を設けること。	2口×2部屋	不要	必要	除湿が必要 温度20度～25度、湿度40%～60%に保てる部屋
	倉庫エリア	⑰	機材倉庫	地下1階	57	発掘に必要な機材の保管を行うスペース	搬出しやすい場所に配置すること。進入に段差がないよう配慮すること。	2口	必要(洗い場)	不要	換気が必要 荷重に耐える、床が洗やすい
		⑱	機材倉庫a	1階	16	試掘調査などで出土した出土品・機材の保管を行うスペース	搬出しやすい場所に配置すること。進入に段差がないよう配慮すること。	5口	必要	必要	換気が必要 荷重に耐える、床が洗やすい

◆参考資料③ 各エリアの主な部屋と必要面積ならびに必要な設備

ゾーン	機能区分	諸室番号	室名称	配置階	検討面積(m <sup>2</sup> )	用途・利用人数等	配置・導線などの仕様	現埋蔵文化財センターを基にした必要設備				
								電源 (1口2穴アース付き)	給排水	空調	その他	
見学ゾーン	展示・普及エリア	⑱	展示室	1階	300	市内の遺跡・出土品の展示を行うスペース	展示室として使いやすい形に改修すること。詳細は展示計画を参照すること。	10口	不要	必要	LAN、監視カメラ	
		⑳	埋蔵文化財の仕事紹介コーナー	1階	—	埋蔵文化財業務紹介ならびに発掘速報展を行うスペース	1階ホワイエ西側に配置すること。前室を用いた収蔵庫見学と見学窓での作業室見学が行えるようにすること。詳細は展示計画を参照すること。	4口	不要	不要	監視カメラ	
		㉑	旧八幡市民会館に関する展示コーナー	2階	36	旧八幡市民会館についての紹介を行うスペース	鍵盤型採光窓が見える配置とすること。常時、ホール2階観客席が一部見える工夫を行うこと。ホール2階観客席へ向かう前室を一部残し、観客席へ向かう動線を確保すること。	4口	不要	不要	監視カメラ	
		㉒	ライブラリーコーナー	1階	—	埋蔵文化財の調査報告書や考古学関連書籍の閲覧を行うスペース	ホワイエまたは展示室内に配置すること。	4口	不要	必要	監視カメラ	
		㉓	研修室	地下1階	100	講座やワークショップを行うスペース/最大80人	管理動線に交わずに進入できるように配慮すること。なお、計画では屋外から直接進入する動線を想定している。	5口	不要	必要	LAN、監視カメラ	
その他		㉔	地下1階トイレ		—		可能であれば多目的トイレとすること			—	換気が必要 来館者用	
		㉕	半地階トイレ		—					—	換気が必要 来館者用	
		㉖	1階トイレ		—		多目的トイレ、一般トイレ			—	換気が必要 来館者用	
			エレベーター	地下1階～2階			来館者が1階展示室・2階旧八幡市民会館に関する展示フロアなどへ移動する際に使用	来館者が認識しやすい・利用しやすい場所に設置すること	—	—	—	4人乗り (機械室なし)
			機材リフト	地下1階～2階			出土品を1階・2階収蔵庫・整理作業室・展示室へ運搬	各部屋へ運搬しやすい場所に設置すること	—	—	—	最大積載荷重240kg 外形150cm×150cm 内形(荷物室)125cm×100cm)
			手洗い場	美術展示棟外部そば			室内で洗えない出土品ならびに現場発掘機材を洗うスペース	美術展示棟そば・外部へ設置すること				汚水処理ができる排水機能(排水泥溜槽)
			防犯カメラ設置	エントランス・地下1階駐車場・東側裏入口・西側裏入口								
		合計			2376.6							